

司教団
メッセージ

いまずぐ原発の廃止を 福島第1原発事故という悲劇的な災害を前にして

原発については、国民一人ひとり、また、様々な立場からその是非について議論されています。採算がとれるかどうかといった経済的な立場、子どもたちの健康や市民生活の安全を守る立場、国際競争力を保持しようとする立場など…。

しかし、カトリック教会は原発の是非に関する問題は倫理的な問題、人間の命の問題でもあると考えます。また、私たちはすべての人と連帯して、神の被造物である自然や環境、すべての生命を保護していく責任を持っています。以上の二つの立場から、宗教者として原発の是非について発言する責任を果たしたいと考えています。

(2011年11月10日仙台において 社会司教委員会委員長高見三明大司教の、「司教団メッセージ」『いまずぐ原発の廃止を』について)のコメントから)

日本に住むすべての皆様へ

東日本大震災によって引き起こされた福島第1原発の事故により、海や大地が放射能に汚染され、多くの人々の生活が奪われてしまいました。現在でも、福島第1原発近隣の地域から10万人近くの住民が避難し、多くの人々が不安におびえた生活を余儀なくされています。

ギョーを提供することになりましたが、一瞬のうちに多くの人々のいのちを奪った広島や長崎に投下された原子爆弾やチェルノブイリの事故、さらに多くの人々のいのちを危険にさらし生活を著しく脅かした東海村の臨界事故にみられるように、後世の人々にも重い被害を与えてしまうことになるのです。その有効利用については、人間の限界をわきまえた英知と、細心の上に細心の注意を重ねる努力が必要でしょう。しかし、悲劇的な結果を招かないために、安全な代替エネルギーを開発していくよう希望します。

原子力発電の是非について、わたしたち日本カトリック司教団は『いのちへのまなざし—21世紀への司教団メッセージ—』のなかで次のように述べました。

〔核エネルギーの開発は〕人類にこれまでにないエネルギー

このメッセージにある「悲劇的な結果」はまさに福島第1原発の事故です。

【聖なる過越の三日間】

今年もよいよ、教会の典礼暦の頂点に位置づけられる「聖週間」が始まります。一般的に聖週間とは、受難の主日(枝の主日)から復活の主日までを指しています。が、そこには、人類に救いの恵みをもたらした「主の過越」を祝うために、司牧的な配慮から二重

いまずぐに原発を廃止することに對して、エネルギー不足を心配する声があります。また、CO2削減の課題などもあり。しかし、なにによりまず、わたしたち人間には神の被造物であるすべてのいのち、自然を守り、子孫により安全で安心できる環境をわたくし責任があります。利益や効率を優先する経済至上主義ではなく、尊いいのち、美しい自然を守るために原発の廃止をいまずぐ決断しなければなりません。

新たな地震や津波による災害が予測されるなか、日本国内に54基あるすべての原発が今回のような甚大な事故を起こす危険をはらんでいます。自然災害に伴う人災を出来る限り最小限に食い止めるためには原発の廃止は必至です。

わたしたちカトリック司教団は『いのちへのまなざし』で、いまずぐに原発を廃止することまでは呼びかけることができませんでした。しかし福島第1原発事故という悲劇的な災害を前にして、そのことを反省し、日本にあるすべての原発をいまずぐに廃止することを呼びかけたいと思います。

【聖なる過越の三日間】
主の過越により結ばれるために、主日単位の構造の中に、「聖なる3日間」が組み込まれています。「主の受難と復活からなる過越の三日間」は、主の晩餐の夕べのミサに始まり、その中心を復活夜祭におき、復活の主日の『晩の祈り』で閉じる(「典礼暦年と典礼暦に関する一般原則」6番)という構造になっています。「主の過越の神秘」にわたしたち一人一人がより深く結ばれますように。

が推し進められてきました。その結果、自然エネルギーの開発、普及が遅れてしまいました。CO2削減のためにも、自然エネルギーの開発と推進を最優先する国策に変えていくようにわたしたちは訴えまします。また、原発は廃炉にするまで長い年月と多くの労働が必要になります。廃炉と放射線廃棄物の処理には細心には細心の注意を払っていかねければならないでしょう。

確かに、現代の生活には電気エネルギーを欠かすことはできません。しかし大切なことは、電気エネルギーに過度に依存した生活を改め、わたしたちの生活全般の在り方を転換していくことなのです。日本には自然と共生してきた文化と知恵と伝統があり、神道や仏教などの諸宗教にもその精神があります。キリスト教にも清貧という精神があります。そして、わたしたちキリスト者には、何よりも神から求められる生き方、つまり「単純質素な生活、祈りの精神、すべての人々に対する愛、とくに小さく貧しい人々への愛、従順、謙遜、離脱、自己犠牲」などによって、福音の真実なあかしを立てる務めがあります。わたしたちは、たとえ節電に努める場合も、この福音的精神に基づき、単純質素な生活様式を選び直すべきです。またその精神を基にした科学技術の発展、進歩を望みます。それが原発のない安心で安全な生活につながるでしょう。

原発はこれまで「平和利用」の名のもとにエネルギーを社会に供給してきましたが、その一方でプルトニウムをはじめとする放射性廃棄物を多量に排出してきました。わたしたちはこれらの危険な廃棄物の保管責任を後の世代に半永久的に負わせることになりまます。これは倫理的な問題として考えなければなりません。これまで、国策によって原発

れる救いの出来事を想起し、これらを「主の過越」という一体化された神秘として盛大に祝い、その恵みに深くあずからせるための特別な配慮です。主日を単位とした(いわゆる簡略化された)主の過越の祝いととも、その中に組み入れられた「聖なる3日間」を大切にすることに、私たちの人生に、汲みつくせない意味と恵みをもたらす「主の過越の神秘」にわたしたち一人一人がより深く結ばれますように。

忘れてはならない3・11

あまりにもひどい震災の爪痕を見聞きする日々、私にできることは何かと自問自答しながら迎えた1周年の3月11日(日)。カトリックとプロテスタント合同の「追悼と再生を願う合同祈禱会」が日本基督教団福岡中部教会で行われ、参加者の皆さんと心を一つにして祈ることができた。天国に行った人に思いを伝えたいとの言葉を聞いて宮城県で一番高い山で、2万発(死者・行方不明者のおおよその数)の花火を打ち上げた人のことを紹介しながら、「人を愛する」ということは、困っているのと知ったら行動することとお話しされた司教さまの話に胸を打たれた。

私は塩釜に教師をしている知人がいる。この地も大きな被害を受けていた。あの日、学校の体育館は560人を超える避難者たちでいっぱいになった。停電、断水し、毛布・食糧、何もなかった。特別支援学級の担任をしていた彼は、特学の子どもたちが、塩釜で有名な藻塩を入れて作り、保存していた塩ビスケットを皆さんに配った。とても人数分はなかった。それでも皆は1個を割って少しずつ全

員で食べる事ができた。避難している人たちがいる限り、帰宅できない。ここに愛があった。彼が、ガンで闘病中の奥様を含めて家族の無事が確かめられたのはずっと後日であったと聞いた。そして秋に、奥様は2人の小学生の娘を残して天国に召された。夏、教区のボランティアとして娘が行ったところが奇しくも塩釜(カトリック塩釜教会)であった。知人は、娘たち20人のボランティア全員に特上の刺身を差し入れてくださった。その刺身は、彼が担任している子ども们的家(寿司屋)の被災後最初の仕事だったということであった。神さまは悲しむ人、困っている人のそばにいて支えてくださっている。同じ思いで集まる人とともに祈りたい。祈る中で「私はどうしたらいいのだろう」と考え、行動する力を与えられる。今回の、カトリック、プロテスタント合同の祈禱会で一つになって祈ることの力強さを感じた。同じ主旨で祈ること、行動すること、このような機会をこれからも続けてほしいと思う。

大名町教会信徒 谷口純子

【ウイリアム・カリー神父様故郷アイルランドで帰天】

3月9日故郷のアイルランドで心不全のため帰天。享年76歳。聖コロンバン会司祭。

1935年5月19日アイルランドの生れ。59年12月21日、聖コロンバン会本部で司祭叙



階。福岡教区では64年から68年の間、帯山・大江・本渡教会で司牧。1995年から帰国される2005年まで手取教会の主任を勤めた。

カリー神父は、日本語を読むこと、書くことに熟達していた。ゆったりとした雰囲気の中にも鋭い洞察力を持ち、近づきやすい人柄で信徒のやる気を起こさせた。その誠実さと忍耐強さ、寛大で活発な共同体を作っていた。

【遊ぶたびに同じ話の出る写真場】

坂牧春妙 深堀正平



来住英俊神父による四旬節の講話

個人黙想 グループ黙想 静修 研修会 セミナーなど
 利用料金 *1泊3食 7,300円
 *日帰り(9:30~16:30) 個室使用なし700円 入館料300円
 個室(ベッド使用なし 2,000円) (ベッド使用 3,000円)
 昼食(1,000円)を希望される場合は、3日目までに要申込

カトリック福岡黙想の家
 カトリック御受難修道会・宗像修道院
 811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
 インターネットで検索 **福岡黙想の家** 検索

ミサ用ワイン

ワイン デ ミサ
VINO DE MISA
 スイートタイプ(赤)(白)
 ご用命 お問い合わせは
 有限会社 **大楠酒店**
 ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
 電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

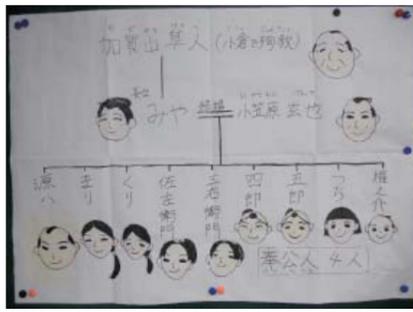
別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOU-EN)

カトリックのご葬儀
 互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
 TEL 092-526-5656
 〒810-0016
 福岡市中央区平和3丁目1-5

殉教者を学ぶ、教会学校黙想会

大名町教会の教会学校では四旬節の黙想会が行なわれた。テーマは熊本県花岡山で殉教した『小笠原玄也一家』について。当初巡礼を予定していたが都合で順延となり、小学校1年生から高校生までが一緒に理解を深めてから再度巡礼を計画し直すことになった。



まずは殉教者を知ることから始まった。時代や歴史感覚、そして殉教という言葉にもなじみのない子どもたちにはその概要を理解するだけでも大変だったが、同じ信仰を生きていた彼らを知ることで殉教者たちがずっと身近な存在になったようだ。午後には小学生と中学生が分かれ、ゆつくりと分かち合いを行うことでさらに理解と共感を深めることができた。「信仰を捨てろ」と言われたらどんな気持ちだろう」「信仰を捨てさせようとした人の気持ちは?」「大好きな人を嫌いになれて言われたら?」「どうして信仰

殉教という難しいテーマに、リーダーが現地での観察と学びをもとに史実に基づいた説明を行い、また紙芝居や一家の相関図などを準備し、

ニュースで見た大槌町には何もなかった



現地には復興に燃える人々の輪があった

津波に全てを奪われ、途方に暮れる人々。何も無いその地を埋め尽くす

がれきの山、ヘドロなど、絶望的な状態ではないかと思つた。実際、大槌の地に踏み入り、辺りを見回すと、ほとんど何もなかった。正直、見るのが辛かった。一年経つたにも関わらず、絶望的なままかと思ひこんだまま、大槌ベースに入った。でも、ボランティアをしていくうちに自分の間違いに気付いた。人々の輪があった。復興に燃えているのが分かるくらい、現地の人々には笑顔と元気であふれていた。テレビを見ながら落ち込んでいた自分が恥ずかしくなった。

被災地には、テレビだけでは分からないことがたくさんあった。復興は進んでいる、という報道が多いが大槌にはまだ、何も無い。それにも関わらずボランティアは減つて



2度目のボランティアだったけど

黒崎教会信徒 高巣猶哉

復興を見届けるために。被災地には、希望を与えなければならぬ。それがボランティアの務めだと思つた。僕はいろんなことを学ばせていただいたが、役に立ってないか分からない。だから、被災地に希望を与えられたことを実感できるまで、何度でもお手伝いに行こうと思う。もちろん、実感できた後も行く。復興を見届けるために。

今回は、震災直後から大槌の姿を撮り続けた方

レジオ会員 聖母への奉獻を更新



レジオオ・マリア会は、今年3月に省み、年に一度、毎年3月に聖母マリアへの奉獻を更新する行事を行う。

今年の奉獻式は、去る3月11日(日)、佐賀、鳥栖、小郡、光丘、高宮、笹丘の各小教区から会員が集まり、高宮教会聖堂で行われた。

写真展の手伝いと、近くの赤浜での漁師さんのお手伝いでした。

感謝

小さな者への神の慈しみをマリアと共によろこび生きる

教会の皆様とともにあたかな交わりのもとに過ごさせていただけたいことは、私たちにとって大きな恵みでした。私たちは、キリシタンの里と呼ばれる自然豊かで信仰深い人情味あふれる人々とともに過ごしたこの天草から2012年3月31日をもって離れることになりました。これまで頂いた教会からのご配慮、またそれぞれの小教区の皆さまに感謝し、福岡教区に貴重な宝である天草の教会が、新たな歩みに入ることをご心から祈っております。ほんとうにありがとうございました。

写真展では、「現地のみなさんは思い出すのがつらいのでは?」と前へ進もうとしていた気持ちを傷つけてしまっているのを見ることが辛かったです。

感謝

真暗な街の中で、明かりを灯す大槌ベースはとも温かく、安心して過ごせる場所でした。「ボランティアというのは、ただ作業をしたかではなく、作業するなかで出会う人、すれ違う人とどれだけ声を掛け合い、どれだけ相手を大切にできるかというの

漁港ではホタテの養殖の作業と、がれきの山から浮き球を取りだす作業をしました。町を支えてきた漁師さんたちはとても元気で、この土地と自らの仕事に誇りを持っていて、それが伝わってきました。

黒崎教会信徒 有吉優里



☆時間について100の言葉 シュテファン・リーゼンフェルト編 山本文子訳

だれにも気づかれない、然るにそこにある。でも、問題になると、はつきりとわたしたちの意識の中に入ってくる。それが時間。この本の中に集められた観察、経験、格言は、たぶんすでに知っているはずのことを新たに意識し、もしかすると、時の流れという列車に乗っているうちにシグナルに気づき、人生の目標を正すための示唆かもしれない。……短い言葉は、わたしたち—しばしば時間不足に悩まされている人々—にも役立つだろう。そして、一つ、または幾つかの言葉が深い思索に「招く」なら、決断する時がきていることを示しているのかもしれない。

編者の言葉

女子パウロ会発行

税込み 1260円

☆なぜ教会は社会問題にかかわるのか

日本カトリック司教協議会 社会司教委員会・編

本書は教会が福音化のため社会問題にかかわる意味を信徒に説く司教の責務の一端を果たすべく編まれました。のびる形式を採用し、信徒が現実を抱えている疑問に、可能な限り直接的・具体的に答えることを目指しています。

カトリック中央協出版部

税込定価 630円

なんでもお問い合わせください

株式会社 ジャパン・スマイルか

代官事務所 マルゴウ・マリア 吉田由美子

〒810-0044 福岡市中央区大濠4丁目8番4号

TEL 092-781-0800

http://www.jp-smile.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。

費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市上白水 5-11-102 092-517-6313

福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業

- 一般住宅(新築・改築工事)
- 鉄骨工事
- RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

株式会社 森山工務店

ヨゼフ 森山 森山 新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号

☎ (092) 811-7265

木との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール FUKUOKA

〒812-0001 福岡市早良区大濠2丁目1番1号

平日 AM 10:00 ~ PM 5:40 分

日・祝日 AM 11:00 ~ PM 4:00 (休館日)

TEL 092-741-3688 FAX 092-741-3661

URL http://www.pax-inc.co.jp

救いの秘儀を知り、追体験し、生き、伝える

2012年福岡地区聖書講座 ③

年間テーマ：福音 ～イエスとの出会い『マルコによる福音書を読む』
日時：5月20日(日) 14:00
テーマ：イエスの道の曲がり角と障害(6章30～8章26)
講師：エドウィン神父(高宮教会主任司祭)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
主催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典礼部会

2012年度北九州地区聖書講座

年間スローガン：ともに学び、生活の場で伝えよう～マルコによる福音書に導かれて～
日時：4月15日(日) 14:00～16:30
テーマ：イエスの死と復活を語る
講師：深堀勝人神父(湯川教会主任司祭)
場所：カトリック小倉教会
主催：北九州地区信徒協・聖書部会

聖書に集う会

日時：2012年4月16日(月) 19時～20時30分
テーマ：福音書って何?
場所：サンパウロ福岡宣教センター1階会議室
講師：鈴木信一神父(聖パウロ会司祭)
対象：19歳以上 どなたでも/参加費：200円
持参品：新約聖書(出版社不問)/次回：5月7日
連絡先：☎092・721・2032(平日10:00～18:00)

ケセン語訳聖書の山浦玄嗣氏を迎えて 世界広報の日 講演会

日時：2012年5月6日(日) 14時～17時
テーマ：心に響け《よきたより》
場所：カトリック大名町教会1階講堂
講師：山浦玄嗣(ハツグ)医師(大船戸教会信徒)
対象：どなたでもご参加ください。
参加費：500円(高校生以下無料)
主催：教区広報委員会/後援：福岡地区信徒協

震災のための祈りのリレー

日時：4月11日10時30分朝の礼拝～19時30分夕の礼拝
会場：伊都キリスト教会(バプテスト派)(JR筑肥線今宿駅)
問合せ先：fr05abe19ko@yahoo.co.jp Br.阿部光一
*どの時間帯からでも参加自由です。

第50回アイルランド国際聖体大会 日本公式巡礼団募集

大会テーマ：聖体、愛の秘蹟
旅行期間：2012年8月9日(日)～8月19日(火)11日間
巡礼区長：山本正樹(カトリック)
旅行費：498,000円(参加費別)
募集期間：4月15日～5月31日
*募集要項は本報掲載。詳細はwww.kikaku.com
主催：日本カトリック巡礼協議会

福岡地区エキュメニカル推進の集い 第6回

日時：2012年4月29日(日) 16時～18時
場所：大名町教会、1階信徒会館
対象：福岡地区の信徒の方(興味のある方)
第一部：開会(祈りと種々の報告)
第二部：養成(教えと分かち合い)
講師：ドミニコ宮原良治司教
第三部：活動協議(これからの活動協力について)

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

主のご復活おめでとうございませう。と言っても教区報4月号を皆様のもとにお届けできる日は聖週間の始まりです。主の過越を心を合わせて記念してまいりましょう。さて、4月号から「典礼シリーズ」が始まります。執筆者は、大神学院の白浜神父様です。典礼に関する素朴な疑問に答えていただくという形をとりたいと思います。ご期待ください。もし、お尋ねになりましたら、お気軽にメールやファックスでお寄せいただければ幸いです。よき復活祭を!

案内板 会合と催し

4月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 4月

2日(月) 四旬節一日講話(指導: 来住英俊神父)
4日(水)～5日(木) 笹丘カトリック幼稚園 研修会
21日(土) 福岡チェナクルム
27日(金)～30日(月) 日本心身医学教会 研修
5月
4日(金)～6日(日) クルシリオ
12日(土)～13日(日) 黙想の家後援会 黙想会・総会(左記に変更になりました)
*祈りたい時 祈るために/疲れた時 休むために/学びたい時 学ぶために、個人黙想をご利用ください。
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：御聖体、愛の秘蹟
・日時：4月12日(木) 10時～14時半
・内容：教会を生み出す聖体
指導者：フランコ・ソットコルノ神父(真命山院長)
ダニエレ・サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョウルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
・次回：5月10日(木) 御聖体とおとめマリア
☎0968・85・3100 0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：4月21日、5月5日、5月19日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

1日(日) 受難の主日(枝の主日)/世界青年の日
3日(火) 聖香油ミサ(カテドラル15時)
↑A. アレグリーニ [2005年ロザリオの園]
4日(水) ↑ベトロ黒川博 [2002年大牟田教会]
5日(木) 聖木曜日(主の晩餐の夕べのミサ・カテドラル19時)
6日(金) 聖金曜日(主の受難の祈り・カテドラル19時)
7日(土) 聖土曜日(主の復活徹夜祭・カテドラル19時)
8日(日) 復活の主日/多久・武雄教会主任司祭就任式
長崎カトリック神学院入学式
9日(月) 信徒使徒職協力者会会合
11日(水) 召命祈願ミサ(カテドラル大名町教会19時)
12日(木) 常任司教委員会
13日(金) [26聖人長崎への道] 5教区会議(広島)
司教座教会献堂記念ミサ
復活節第2主日(神のいつくしみの主日)
司教座教会献堂記念特別献金日/光丘教会堅信式
復活節第3主日
22日(日) 教区司祭の集い(～24日)
23日(月) 司祭評議会常任会合
24日(火) 聖マルコ福音記者
25日(水) 復活節第4主日/世界召命の日(献金)
29日(日) エキュメニカル推進の集い
福岡教区修道女連盟総会 昭和の日
30日(月) 5月
4日(金) 初金曜日(浄水通教会10時)/サーリスの集い
クルシリオ(黙想の家～6日)
5日(土) 聖心ウルスラ宣教女修道会来日60周年 こどもの日
6日(日) 世界広報の日 特別講演会(カテドラル14時)
8日(火) 司祭評議会
9日(水) 神学院常任委員会(東京)
10日(木) 常任司教委員会 ■ゴチックは司教日程

福岡

◆ 聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時) 毎週月曜11時から(場所) 大名町教会1階(内容) 賛美と感謝の祈り・聖書の分かち合い(問合せ先) ☎092・821・6349 森
◆ 第3回キリスト教講座開講(日時) 4月11日(水) 毎水曜19時から・4月13日(金) 毎金曜10時から(場所) カトリック大名町教会(参加費) 原則無料(対象) キリスト教に関心のある方(問合せ先) ☎092・41・3687
◆ カルメル在世会(日時) 4月16日(月) 10時半(場所) 福岡女子カルメル会修道院聖堂・テレサの家(内容) ミサ・講話(創立史)(大聖テレジア著)(指導) カルメル会司祭(問合せ先) ☎097・551・1360 中林
◆ 聖ヨアキム&聖アンナ会(日時) 4月16日(月) 13時(場所) カトリック笹丘教会聖堂(内容) ロザリオとミサ(参加費) 献金(問合せ先) ☎090・9568・0076 野川
◆ グレゴリオ聖歌を歌う会(日時) 4月17日(火) 11時(場所) 聖クララ寮(福岡市南区塩原)(内容) 聖霊賛歌(問合せ先) ☎096・380・5686 堺敬子
◆ こひつじ会(精神障がい者と家族の会)(日時) 4月21日(土) 14時～16時(内容) 「いちご大福」を作るIIQOL(生活の質)を高めるために楽しく過ごしましょう(指導) 家族有志(場所) カトリック案内所(福岡黙想の家) 自由ヶ丘南2丁目(参加費) 無料(自由献金)(連絡先) ☎0940・33・27
◆ 東日本大震災復興のためのチャリティコンサート(日時) 4月22日(日) 14時(場所) 雪の聖母聖堂 聖マリア病院(演奏) パイプオルガン(松本俊徳) 長崎純心大学教授(合唱) (コーラル) 長崎(長崎カトリック合唱団) お告げのマリア修道会(曲目) ご復活の聖歌 他(問合せ先) ☎0942・35・3322 チャプレン室 山本啓子
◆ ザビエル合唱団会告知(日時) 4月28日(土) 13時半(場所) カトリック西新教会(指導) 新垣王敏氏(会費) 二千元(問合せ先) ☎0940・33・5423 橋本
◆ テレジア友の会(読書会)(日時) 5月5日(土) 13時半(場所) 福岡女子カルメル会テレサの家(内容) 「幼いイエスの聖テレジア自叙伝」(問合せ先) ☎092・8092・807・7361(方ルメル会)
◆ 福岡結婚準備講座(日時) 5月12日(土) 6月9日(土) 毎週土曜日18時半～21時(場所) カトリック大名町教会(参加費) カップルで1万円(問合せ先) ☎092・741・3687
◆ 美野島司牧センター あなたの勇気が路上の命を支えます! ●ホームレスの方に手作りのお昼ごはん毎火曜日10時30分 ●ホームレス支援夜回り第1金曜日20時 ●路上からアパートに入居した方を訪問第3土曜日13時 ●花見大会4月15日(日) 14時須崎公園(問合せ先) ☎092・431・1419 コース神父

北九州

◆ 北九州召命を共に祈る会(日時) 4月12日(木) 14時(場所) カトリック小倉教会(内容) ミサとミーティング(指導) 井手公平神父(門司教会主任)(問合せ先) ☎0949・24・9905 藤井
◆ 小倉祈りの集い(日時) 4月27日(金) 13時半(場所) カトリック小倉教会信徒会館2階(指導) ガブリエル神父(御受難会)(内容) 『みことばを味わう』賛美と感謝の祈り(連絡) ☎090・3985・5209 松田

佐賀

◆ 佐賀祈りの集い(日時) 4月14日(土) 10時(場所) 第1土曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武
◆ 熊本地区召命を共に祈る会(日時) 4月19日(木) 11時(場所) カトリック健康教会(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825 青木悟神父
◆ カトリック看護協会福岡支部の集まり(日時) 5月6日(日) 14時(場所) 聖心病院(内容) スピリチュアルケアの学びと分かち合い(問合せ先) ☎096・352・7181 Sr 竹内

熊本

◆ 熊本結婚準備講座(日時) 5月12日(土) から6月9日毎週土曜日の全5回(日時) 19時～21時半(場所) カトリック手取教会(参加費) カップルで1万円(問合せ先) ☎096・352・3030 F 096・352・1515

編集後記

主のご復活おめでとうございませう。と言っても教区報4月号を皆様のもとにお届けできる日は聖週間の始まりです。主の過越を心を合わせて記念してまいりましょう。さて、4月号から「典礼シリーズ」が始まります。執筆者は、大神学院の白浜神父様です。典礼に関する素朴な疑問に答えていただくという形をとりたいと思います。ご期待ください。もし、お尋ねになりましたら、お気軽にメールやファックスでお寄せいただければ幸いです。よき復活祭を!

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
総合産科医療センター
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

殉教の聖地 五島列島巡礼ツアー
添乗員が同行 詳しいパンフレットを郵送します
集合12日・3日間は佐世保港9:40、5日間は長崎港7:15
◆10教会2日間 [出発]5月3、7月14日 [旅行代金] 28,000円
◆20教会3日間 [出発]5月3、7月14日 [旅行代金] 48,000円
◆全54ヶ所5日間 [出発]5月20日 [旅行代金] 185,000円
[旅行企画・実施] 株式会社 長崎ツーリスト公社
・095-894-9755 FAX 095-894-9760
長崎市音無町12-12-304 全国旅行業協会会員
長崎県知事登録第2-144号 総合旅行業務取扱管理者 吉村 徳明

ともにたたえ
告げ知らせよう!
主・キリストは復活された!
4月の休業日 8、15、23、29、30
サンパウロ福岡宣教センター
10:00~18:00(月~土)/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930